

後援会だより

札幌大学と保護者を結ぶホットライン

札幌大学後援会広報誌 Vol.46

発行/札幌大学後援会事務局 発行日/2016年3月31日 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内 TEL(011)852-9749(直) http://blg.sapporo-u.ac.jp/koenkai

札幌男子バスケットボール部が近年、活躍を続けています。昨年開催された『第70回北海道大学バスケットボール総合選手権大会』および『東日本大震災復興支援第91回天皇杯・第82回皇后杯全日本総合

守って走るプレースタイルで、道内トップの名門チームに！



札幌大学 男子バスケットボール部 パープルラムズ (Purple Rams)



男子バスケットボール部 顧問 山本 裕一先生

札幌大学男子バスケットボール部は男女とも開学と同時に創部されました。北海道ではどの大会においても常に優勝を争う実力を有し、伝統ある名門チームとして知られています。男子チームの名称は「札幌大学パープルラムズ」。札幌のカラーである紫と、地域のマスコットである羊から名付けられました。その強さの秘密は日々のためまね練習にあります。練習はチーム全体では週5

の大会で札幌男子が道内を制し、北海道代表として全国大会に出場しました。東京の大田区体育館で行われた試合では強豪を相手に善戦し、札幌男子ここにありというところを見せつけました。主要メンバーの3年生、フォワードの田原隆徳さんは「12年振りに全国大会に出場し、強豪と試合した経験は良い勉強になりました」と語り、今後はそれを基に、さらにプレーの精度を上げていきたいと言います。

応援されるチームをめざし、一層の活躍を！
昨年度の大学選手権および全日本大会の道内予選において、札幌男子バスケットボール部がともに優勝の栄冠を手に入れました。道内優勝を果たしたことから、12年振りに全国大会に出場。残念ながら初戦突破とはなりませんでしたが、今年度はこれまで以上の活躍が期待されています。成績という目に見えるカタチだけではなく、地域から愛され、応援されるチームづくりをめざす同部の顧問、コーチ、そして主力選手の意気込みを伺いました。

実業団も参加する全日本大会 道内予選で、見事12年振りに優勝

北海道 No.1 に



男子バスケットボール部 コーチ 町田 洋介さん

目覚ましい活躍を見せる札幌男子バスケットボール部は、日頃の練習や試合結果だけが素晴らしいわけではありません。練習や試合の合間にバスケットを通じたさまざまな取り組みも充実しています。部員たちが地域の子どもたちに向け、年に数回バスケットを指導する、めまめ主権の「バスケットボール体験教室」や、多くの団体

日、組織プレーや技術のブラッシュアップを重点的にを行い、それ以外の日は部員各自が自主的にウエイトトレーニングに努めるなど、フィジカル面の強化に取り組んでいます。チームの指導にあたる町田洋介コーチは「他に比べると、我がチームの平均身長は確かに高くありませんが、一人ひとりの身体能力は高く、オフエンス面は全国でも互角に渡り合えるだけの技術を持っています。それだけに、現在力を入れて指導しているのはディフェンス面。ウチのプレースタイルは守って走ること。守備を強化し、守りながら攻めることで流れを作っていきたいです」と、今後の戦略を熱く述べていただきました。

「他に比べると、我がチームの平均身長は確かに高くありませんが、一人ひとりの身体能力は高く、オフエンス面は全国でも互角に渡り合えるだけの技術を持っています。それだけに、現在力を入れて指導しているのはディフェンス面。ウチのプレースタイルは守って走ること。守備を強化し、守りながら攻めることで流れを作っていきたいです」と、今後の戦略を熱く述べていただきました。



地域共創学群スポーツ文化専攻1年生 池田 修斗さん

顧問の山本先生は、「部員の活躍とともに遠征が多くなっており、その際は後援会様より多大なご支援をいただいていること大変感謝しています。今後とも温かいご指導・鞭撻のほど、よろしく願います」と感謝の意を述べておられました。今後は札幌男子バスケットボール部の活躍から目が離せません。

「基本は文武両道、学生の本分である勉強を優先に！」
基本的には文武両道、学生の本分である勉強を優先に！



地域共創学群法学専攻3年生 田原 隆徳さん

チームを集めてゲームを楽しむ「ミニバスケット交歓大会」の運営など、大学の学びや活動の成果を地域に還元しています。顧問の山本裕一先生は、「基本は文武両道です。あくまでも課外活動ですから、学生の本分である勉強をしっかりとやって、バスケットを通じ、おとなに成長してほしいと願っています」。この基本理念を踏まえ、部員全員で話し合った結果打ち出したスローガンが、「応援されるチームになる」ということ。これは「単に優れたプレーや成績を賞賛されるだけではなく、人間として応援されるチームになろう」というもの。そのために必要な

CONTENTS
札幌大学男子バスケットボール部 後援会から.....1面
札幌大学会社説明会 就活学生・内定者インタビュー.....2面
海外留学体験者レポート 米国ネブラスカ州立大学カーニイ校 卒業生インタビュー.....3面
平成27年度課外活動への補助一覧 キャンパスカレンダー 自治会リポート 編集後記.....4面

後援会では学生が充実したキャンパス生活を送っていただけるよう、納入いただいた後援会費を基に奨学金資格取得、部活、留学生、卒業祝賀会、大学祭等への援助を実施しています。後援会で実施している「保護者懇談会」では、毎年多くの保護者の方にご参加をいただいております。



札幌大学後援会副会長 広報委員会 宮本 みどり



後援会の皆様こんにちは。後援会の役員を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。宮本と申します。よろしくお願いたします。

後援会から 札幌大学「後援会」活動への参加のお願い
札幌大学後援会副会長 広報委員会 宮本 みどり

未来に向けて第二步！ 平成27年度札幌大学「会社説明会」 を開催しました。

昨年続き、明るい兆しが見える今年の就職戦線がいよいよスタートしました。そんな状況を背景に、札幌大学では今年も会社説明会を開催。本校学生の採用に意欲的な企業140社あまりが参加し、2号館の各教室を舞台に熱い説明会を展開しました。就活の新スケジュールでの心構え、就活中の学生、内定を獲得した学生の声を中心にお伝えします。

●開催日／2016年3月1日、2日、3日、10日、11日 計5日間
●時間／13:00～16:10 ●場所／札幌大学2号館教室



2017年卒 就活の新スケジュールについて

学生支援オフィス主幹 小野 寛一さん

2016年卒の採用活動時期「後ろ倒し」は学生にも企業にも大きな混乱を招きました。経団連に加盟する大手企業は選考開始時期を守りましたが、外資系を筆頭にほとんどの企業は8月1日を待たずに選考を開始し、5月・6月には内定を出す企業が續出しました。

2017年卒は広報活動(説明会等)解禁が3月1日と変わりませんが、選考開始が6月1日と2カ月早くなります。しかし、優秀な学生を早く確保したい企業は、昨年同様に解禁日を待たずに選考を始めることが予想されます。しっかりと情報収集をしなければ「気づいたら志望企業の採用活動が終わっていた」という事態もありえます。

札幌大学では、就職ガイダンスや就職講座を3年生の9月下旬から開始し、「企業研究法」「自己分析」「内定者による就活報告会」「もちアツプ 自己理解」「履歴書・エントリーシート対策講座」「業界研究セミナー」など様々な講座開講に引き続き、3月1日に向けて実践的な講座を行ってきました。

就職活動の成果は日々の積み重ねから生まれます。いい加減な学生生活と就活準備ではそれなりの成果しか出ませんし、目標を持って早くから行動していれば、よい成果を得る可能性が高まります。就職活動のスケジュール変更などに影響を受けず、意思を強くもって就職活動に臨んでほしいと思います。

有名企業、人気企業でなくとも世の中になくはない企業は沢山あります。しっかりと企業研究をし、自分がどんな仕事に向いているのかを把握し、積極的な就活をしてくれるよう期待しております。

就活直撃 インタビュー



地域貢献のできる職に就き、
完全燃焼が目標です

現在、就職活動に精一杯取り組んでいるところです。私は就職活動をしていく上で「やり甲斐」をポイントとしています。一人の人間として、また社会の一員として、やり甲斐のある仕事をしたくと思っています。やり甲斐を感じることが出来るのは、誰かの役に立っていると感じられるかどうか。そのため、地域貢献ができる職種を見つめるため、現在業界・企業研究を進めています。たとえ小さな規模であっても、地域に密着し、喜ぶ顔が見えるような貢献ができればいいですね。そういう意味では、私にとって内定獲得はゴールではありません。社会に出て一生懸命働き、完全燃焼して定年を迎えた時がゴールだと思っています。



地域共創学群 法学専攻3年生
齋藤 悠介 さん

内定者レポート 株式会社スズケン内定

念願が叶い、春からマーケティングスペシャリスト(MS)として働くことになりました。MSの職業は医薬品卸売社の営業として病院や調剤薬局に向き、医薬品のプレゼンテーションをするのが役目です。1年生の時に医療関係の方の講演を聞いたことがきっかけで医薬品業界を志望するようになりました。この頃から私の就職活動が少しずつ始まったのです。心配性でマイペースな性格だったこともあり、早めの行動を心掛けました。就職活動をするうえで、「私らしく、のびのび」と働ける企業に就職したいと考えておりました。エントリーシート、グループディスカッション、面接のすべてにおいて妥協することなく、「私らしさ」を発揮できるように周囲の人に力を貸して頂きながら努力し、試験に臨みました。その結果、ご縁があつて株式会社スズケンより内定を頂くことができました。当初志望していた企業は道内企業でした



経営学部経営学科4年生
外館 美紗季 さん

が、様々な人の話を聞いて企業研究をしていく中で全国規模という大きなフィールドでの挑戦を強く望むようになり、第一志望以上の大きな規模の企業に私らしさを評価して頂きました。就職先が決定した後は、部活動や趣味の時間を充実させることができ、今はペン習字教室に通うなど新しいことにも挑戦しています。春からも、「私らしさ」を忘れず、どんなことにも挑戦していきたいです。

空知信用金庫内定

小学3年生から14年間バレーボールに打ち込みました。本学にもバレーボールでの推薦を頂き、私の大学生活の中心は部活動一色でした。技術面・精神面共に鍛えることができ、人間としても成長することができ、学生最後の年には主将を任せられました。

就職活動を行う際にも、部活動で得た経験が強みになりました。これまでに部活動を通してさまざまな人と出会うことで、自分の成長に繋がったと思います。また、社会には自分と合う人、合わない人は必ずいると思いますが、多くの人と出会うことで成長することができると信じています。

進路決定では、ご縁があつて私の地元にある本店がある信用金庫から内定をいただくことができました。入庫先では、お互いが切磋琢磨し合えるのももちろん、さまざまなお客様の支えになることができ

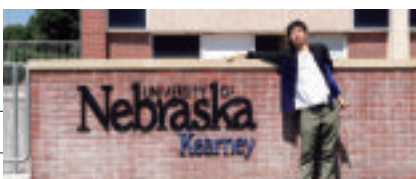
るので、さらに自分を成長させる絶好の環境だと思っています。

私が就職活動において一番大切だと思ったことは、内定を勝ち取るために何かに力を入れるのではなく、社会人としての力を身に着けるために普段の行動に心掛けることです。

本学に入学し、学生生活・部活動を通して私は一回りも二回りも成長することができたことを実感しています。これからまた新たな舞台で飛躍していきたいと思っています。



経済学部経済学科4年生
小野寺 勇紀 さん



ネブラスカ州立大学カーニイ校へ 奨学金で留学。

決して忘れないのでできない活気で
横溢した日々。

私は2014年8月15日から2015年8月10日の約1年間、札幌大学からの交換留学生としてアメリカにあるネブラスカ州立大学カーニイ校に留学しました。私が留学を決意したのは、家族と離れ一人で生活してみたい気持ちと純粋にアメリカでさらなる勉強に励みたいためでした。その1年は、私にとって決して忘れることのできない活気で横溢した日々でした。留学について指導、援助して下さった札幌大学の関係者の皆様、留学先で出会いお世話になった皆様に心から感謝しています。この海外体験レポートを通じて私の体験を皆様へ御報告すると同時に、留学経験者として後継者に託す札幌大学の今後の留学活動をお手伝いできればと思います。

TOEFL ipt test の上位者、授業成績、面接の3つが選考基準。

2014年12月から留学希望者の募集が始まりました。奨学金で留学を希望する人は、TOEFL ipt test の上位者、授業成績、面接の3つが選考基準でした。特に授業成績が最も重要視されました。留学を認められた学生の中で英語力を証明するTOEFL ipt test スコアの上位者から順に私を含め4人が授業料免除、寮費、食費免除、条件は様々でしたが奨学金を受け取ることができました。次に、パスポート、ビザをはじめ保険の手続きなど様々な必要書類の作成がありました。留学事前活動に伴う経費は私の予想を越えました。1年間の長期留学の場合、保険会社はAIUが最適です。これらの作業や手続きは複雑でしたが、いい勉強になりました。

分からない事は素直に質問する

カーニイ校はアメリカ中央に位置するネブラスカ州にあり予想以上の田舎町でした。農地が広大で定期的に走る家畜用貨物列車により目の覚める肥料の匂



地域共創学群英語専攻
三井 陽港 さん

いが町中に広がります。夏は暑く冬は札幌よりも寒い。田舎のため繁華街もなく勉強するしかない環境でした。食べ物の特徴は、内地のたぬ川魚やエビが殆んど冷凍でした。学校生活では、大学の授業とは別に語学学校に通わなければなりません。ここでは大学の授業が理解できるように英語を勉強します。週末を除き毎日授業があります。1日3科目で朝から15時までの時間割です。宿題もあります。一定の語学力があると認められると大学の授業を受講できます。先生方とはとても親切で勉強以外にもお勧めのレストランやスーパの紹介など生活面でのアドバイスしてくれました。世界各国から集まる留学生と共に授業に参加できたことは刺激的でした。

当初、私は相手の発言を理解できなかった時、必死で応えを模索しようと焦っていました。しかし、理解できなかったら冷静に「分からない」とはっきり相手に伝え、一つ一つ丁寧に説明してもらえよう頼みました。この術は基本的な事ですが意外とできない人が多かったのです。

ある日、語学学校の先生からもっとも積極的に話すように指導されました。その日を境に私は次第にお喋りへと変貌し、同時に英語力のさらなる向上を実感していきました。

異文化に慣れるには、喜怒哀楽を自然に表現し人間らしく

時に様々な困難に直面しました。アメリカの金融システムについて全く知らなかったのが手続きに慣れるまで大変でした。多くの留学生も困惑していました。私はアメリカで「自発的に何事にも参加しよう」と決めていました。そこで、寮対抗のダンス大会に勧んで参加しました。チームに留学生は私だけでした。最

英語を通じて文化、習慣だけでなく多種多様の経験から価値観を理解。

初は不安を隠すために笑顔でいました。結局、笑顔作りが疲れてしまい喜怒哀楽を自然に表現し人間らしくなれました。これは、異文化に慣れ不安を払拭できた瞬間なのではないかと思えます。その結果、チーム一丸となって挑戦でき楽しかったです。

ルームメイトと意見が割れて大ゲンカしたこともあり。大声でお互いに自己主張できたことはよい経験だったと思います。

アメリカの生活は自動車が必要不可欠でした。私は免許を持っていなかったので取得するために現地の先生や友人から運転を習いました。もともと神経を研ぎ澄ませた時間でした。必死で英語の指示を受けていました。

アメリカ滞留期間を延長しサマースクールに通いました。多くの学生は長期夏休みのためそれぞれ帰省します。通常の時間割りと異なり、1つの講義を毎日3時間1ヶ月行われます。私は一時的に寮を出て、友人とアパート暮らしを始めました。大学敷地外には多くのアパートがあり、学生がよく共用しています。家賃が寮費よりも安いのが魅力です。

夏休みで学生のいない閑散とした大学で、私は校内で清掃のアルバイトをしました。サマースクールの特別に凝縮された時間割りとアルバイトの両立で忙しく殆ど寝られない日々でした。しかし、宿題をこなし現地の人と働き常々楽しく過ごせたこと、束の間ですが自力で生活ができたことは自信に繋がったと思います。

私の留学体験の一部を紹介させて頂きました。実際に留学してみなければわからない事が沢山ありました。札幌大学には単位互換制度があることが特徴です。留学後は万単位不足で留年する事になったとしても、1年間授業料免除になります。

私にとってアメリカ留学は、英語を通じて文化、習慣だけでなく多種多様の経験から価値観を理解し共有できたことは贅沢で貴重な時間でした。恵まれた環境下で出会えた全ての皆様に深く感謝します。私は留学で培った経験・知識・自信を武器に自分のさらなる成長のため、日々精進していくつもりです。また大学や地域に貢献できるよう務めていきたいです。

企業人として、また卒業生として、 後輩の成長をサポートしていきたいですね

卒業して十数年が経過したOBなんです。今でも毎週月曜日には母校を訪れ、企業人として教壇に立っています。担当しているのは、「キャリア科目」という講義。これは相変わらず厳しさが予想される就職戦線に対応するため、札大が早期から学生の就職意識、動機づけを高めるために開設している特別講義にほかなりません。当社は札大様より業務委託をいただき、私が講師として派遣されているというわけです。私の勤務している会社というのは、総合人材サービスを提供する「キャリアバンク株式会社」にほかなりません。現在は人材開発事業部に籍を置き、主に人材の教育、研修、就職支援などに努めています。

講義実施については、札大様と当社が毎年協議調整を行い、タイムスケジュール、授業内容、指導要領などを決定し、年間のカリキュラムを作成しています。このカリキュラムに基づき、私は1、2年次を担当しているのですが、早くから明確なキャリアデザインを立ててもらうことのほかに、大学生活をスタートしたばかりの1年生に、今後4年間の学び方、過ごし方、心構えなどを中心にアドバイス

しています。しっかりとしたビジョンがあれば、充実した4年間を過ごすことが可能であり、自ずと将来の道も開けてくると思うからです。

企業から求められるのは コミュニケーション能力

授業終了後、希望する学生には、先輩としてアドバイスできることを話しているのですが、最近の学生は、全体的に大人しくなったという印象があります。約10年間にわたって学生と接してきましたが、昔はもっと相手のことを知ろうとしたし、自分の考えを訴えてきました。今の学生は自分のことを中々発信しようとしませんね。相手にどう思われているのか気にしすぎる傾向にあります。自己開示することで相手の懐に入ることが出来るので、もっと自分をさらけ出してほしいですね。

企業が求める理想の人材像は、今も昔もコミュニケーション能力の高い人。これはいつの時代も普遍的なものと言えるでしょう。

講師として学生の成長を見守っています。コミュニケーション能力については4年間を着実な成長を感じる事ができます。将来、社会の一員となって働く際に重要なものがチームワークです。それだけに、在学中に養ったコミュニケーション能力をいかし、相手の意見を聞けると同時に、自分の意見もしっかり伝える人になってほしいですね。

在学時の思い出は部活動でアメフトに熱中したこと

在学時の思い出は、部活動一色です。私はアメリカンフットボール部に所属していました。3年生の時には「スズランボウル」という大会で優勝するなど、良い思い出になっています。アメフト部に入った理由は、就職に有利になると考え



松岡 道明さん
平成3年度 経営学部経営学科卒
キャリアバンク株式会社
人材開発事業部 係長

てのこと。一つことに打ち込んだ実績が企業へのアピールになると思っていたから。しかし、入部間もなく後悔しましたね。とにかく練習がハードなんです。やめたいと思いましたが、本当にやめてしまったらもっと後悔するだろうと考え、頑張つて続けました。おかげで心身ともに鍛えられましたよ。厳しい練習に耐えてきた同士として、当時の友人とは今も交流があります。それぞれ、さまざまな業種で活躍されており、お互いの近況を情報交換することで、今の仕事に大変役立っています。

キャリアバンクに勤務する以前は、別の企業で働いていました。そこで人間関係や働くことの意義について大いに悩み、とても苦労しました。その時の経験をいかし、なにか人の役に立ちたいと考えていた時に、現在の会社に巡り会いました。今もいろいろな悩みを抱えながら働いている人は少なくないと思います。そんな人たちのために、自らの経験談をプラスして、より適切な相談援助ができるように、CDA（キャリアカウンセラー）の資格を取得しました。今後も後輩の皆さんの成長を見守りつつ、専門家として就職に関するさまざまな問題に対処していきたいと思っています。



卒業生の声

より適切な相談援助ができるように、CDA（キャリアカウンセラー）の資格を取得しました。

平成27年度 課外活動への補助一覧

平成28年2月現在

交付団体名	大会名	補助対象期間	支出金額
弓道部	第63回全日本学生弓道選手権大会	8/10～8/15	180,000
	第46回全日本学生弓道遠の選手権大会		
剣道部	第63回全日本学生剣道選手権大会	6/26～6/29	36,000
	第49回全日本女子学生剣道選手権大会		
	第63回全日本学生剣道優勝大会		
硬式庭球部	平成27年度全日本学生テニス選手権大会	8/13～8/17	15,000
	平成27年度全日本学生室内テニス選手権大会	11/27～11/30	12,000
サッカー部	第51回全国社会人サッカー選手権大会	10/16～10/18	198,000
	第64回全日本大学サッカー選手権大会	12/7～12/11	360,000
少林寺拳法部	第49回少林寺拳法全日本学生大会	10/31～11/2	45,000
女子サッカー部	第24回全日本大学女子サッカー選手権大会	12/25～12/27	90,000
女子羽球部	第66回全日本学生バドミントン選手権大会	10/9～10/11	99,000
女子バスケットボール部	第67回全日本大学バスケットボール選手権大会	11/20～11/25	378,000
柔道部	平成27年度全日本学生柔道優勝大会	6/26～6/28	117,000
	平成27年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	9/12～9/14	18,000
	平成27年度全日本学生柔道体重別選手権大会	10/2～10/4	120,000
	平成27年度全日本学生柔道団体優勝大会	10/23～10/25	135,000
準硬式野球部	第67回全日本大学準硬式野球選手権大会	8/18～8/23	486,000
	第33回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	11/12～11/16	60,000
スケート部	第16回大学アイスホッケー交流苫小牧大会	9/9～9/13	240,000
	第9回東日本学生フィギュアスケート選手権大会	10/17～10/19	9,000
	第41回東日本フィギュアスケート選手権大会	10/29～11/2	15,000
	第88回日本学生氷上競技選手権大会(アイスホッケー部門)	1/5～1/8	192,000
男子バスケットボール部	第67回全日本大学バスケットボール選手権大会	11/20～11/24	321,000
	第91回天皇杯・第82回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会	12/31～1/2	153,000
男子バレーボール部	第34回東日本大学バレーボール選手権大会	6/24～6/27	192,000
	第68回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会	11/30～12/3	228,000
陸上競技部	第37回北日本学生陸上競技対校選手権大会	8/6～8/9	96,000
	天皇賜盃第84回日本学生陸上競技対校選手権大会	9/9～9/13	165,000
X-SPORTS部	スケートボードコンテスト2015make it count japan	4/24～4/27	12,000
	スケートボードコンテスト2015make it count	5/29～5/31	18,000
	全日本アマチュア・スケートボード選手権	10/23～10/25	9,000
小計			4,209,000

交付団体名	文化系サークル補助金	補助対象期間	支出金額
民俗音楽研究部	定期演奏会		50,000
映画研究会	映画上映大会		20,000
演劇研究会	演劇祭		50,000
劇団ダイナマイト			
軽音楽部	文連祭ライブ		50,000
文芸部	部誌制作		50,000
写真部	写真展		50,000
ジャズ研究会	定期演奏会		50,000
アピーロード音楽研究部	合同ライブ		50,000
小計			370,000

補助金支出合計 **4,579,000**

自治会レポート

これまで、大学祭実行委員会を2年間、自治会の副委員長を1年間経験し、平成28年度の札幌大学自治会執行委員会委員長を務めています。

自治会とは、高校で言う生徒会のような存在です。学生の意見、要望を学校に提案するのはもちろんのこと、一人あたり年間自治会費4,000円を納入していただき、その中で文化系体育系サークルの運営や大学祭、卒業記念品等により全学生に貢献出来るように予算管理も行っています。

さて、前置きが長くなりましたが今年の抱負は、『学生のサークル加入率向上』です。近年は奨学金を借りている学生の割合が高く、アルバイトとサークル活動の両立が出来ないという声や、実家暮らしの学生は中学、高校の同級生と連絡すればすぐ遊べるからサークルには入らない等、加入しない理由も様々ありました。しかし、何もやっていないと困るのが就職活動です。履歴書や面接では学生時代一番頑張ったこと、という項目が必ず出てきます。そこで何も書けない...という状況にならない為に保護者の皆様はぜひ、サークル加入を勧めてみて下さい！すでにサークルに所属している学生には、学校で行っているボランティアなどで新たな活動に挑戦してみるよう促すのもいいかもしれません。

最後にお願いを一つ、現在大学祭実行委員会及び自治会執行委員会も人員不足です…。やりがいと実績は身に付くことを保証しますので、そちらもぜひ勧めてみてください。

自治会委員長 **高野 恭平**
(地域共創学群経済学専攻)

編集後記

本年度を顧みると、就職活動時期の後倒し変更の初めての年で、採用スケジュールの変更により大学生側、企業側とも戸惑いと不安の声が多く聞かれました。このような環境下で、大手就職情報会社による2016年卒業を対象とした就職活動調査(2015年10月)に拠ると、就職活動を漢字一文字で表すと「楽」が3年連続一位、「忙」「早」が調査以来、初めてランクインしています。

では、本学はどうであったかといいますが、本号に掲載の就職決定者の二人共、基本ステップである事前準備が素晴らしく、加えて専攻した勉学と課外活動を通して自身の強みを培ったことを挙げており、周りの「楽」という空気を味方に自然体で勝負しています。この点で、1面のバスケットボール部の全国区での活躍、また3面の米国留学体験は、本号で思いを発信している以上に自身の糧となっていることは沢山あるのかもしれませんが、必ず実を結ぶことになるでしょう。

一方、「大学生活はクラブ加入や海外留学だけではではない」という切り口では、3面で紹介の本学卒業生の松岡氏が、「キャリア科目」の講師として、入学時からの授業で熱血指導に当たっています。「しっかりとしたビジョンがあれば、充実した4年間を過ごすことが可能であり、自ずと将来の道も開けてくる」と語るように、社会人の先輩として、就職の専門として後輩の成長を支援しています。

本誌は、会員の皆様のお子さまが活躍する一部の紹介に限られますが、後援会の支援事業を通して一人ひとりが活躍、成長できる場が西岡キャンパスにあることを各方面から発信できるよう努めてまいります。

キャンパスカレンダー

2016.4～2017.3

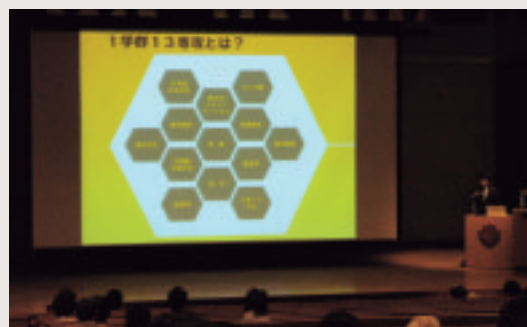
- 4 1日(金) 入学式
1日(金) 春学期ガイダンス・オリエンテーション(～4/5)
6日(水) 春学期授業(～7/27)
- 5 6日(金) 開学記念日
14日(土) 第1回オープンキャンパス
- 6 25日(土) 第2回オープンキャンパス
- 7 16日(土) 第3回オープンキャンパス
23日(土) 春学期補講日
27日(水) 春学期補講日
28日(木) 春学期定期試験(～8/3)
- 8 7日(日) 第4回オープンキャンパス
4日(木) 夏期休業(～9/14)
17日(水) 春学期追再試験(～8/19)
20日(土) 第1回エントリーカレッジ
- 9 1日(木) 春学期卒業発表
5日(月) 秋学期集中講義(～9/10)
15日(木) 秋学期ガイダンス・オリエンテーション(～9/16)
17日(土) 秋学期授業(～1/26)
春学期卒業証書・学位記授与式
- 10 2日(日) 第5回オープンキャンパス
7日(金) 大学祭(～10/10)
22日(土) 課外活動・アクションプログラム
特別推薦入学試験10月日程
- 11 5日(土) 第2回エントリーカレッジ
19日(土) 推薦・特別入学試験(～11/20)
自己推薦特別入学試験A日程
課外活動推薦特別入学試験A日程(～11/20)
- 12 10日(土) 自己推薦特別入学試験B日程、課外活動
推薦特別入学試験B日程
23日(金) 冬期休業(～1/4)
- 1 14日(土) 大学入試センター試験(～1/15)
24日(火) 秋学期補講日(～1/26)
27日(金) 秋学期定期試験(～2/2)
- 2 5日(日) 一般入学試験(A日程)
16日(木) 秋学期追再試験(～2/18)
25日(土) 第3回エントリーカレッジ
- 3 1日(水) 秋学期卒業発表
6日(月) 一般入学試験(B日程)
10日(金) 自己推薦特別入学試験C日程、課外活動
推薦特別入学試験C日程
20日(月) 秋学期卒業証書・学位記授与式
25日(土) 第6回オープンキャンパス
28日(火) 自己推薦特別入学試験D日程



平成28年度 札幌大学保護者懇談会

保護者懇談会は、学生の就職状況、修学状況、学生生活等についてご説明することにより、大学へのご理解を深めていただくことを目的に、札幌会場をはじめ、道内7会場及び青森において開催いたします。

改めて開催案内をお送りいたしますので、大学における様々な施策・活動へのご理解をいただくため、是非ともご出席くださいますようお願いいたします。



昨年の保護者懇談会の様子

開催地	実施会場	開催月日
札幌	札幌大学	6/11(土)
北見	ホテルロイヤル北見	9/3(土)
旭川	ロワジールホテル旭川	9/4(日)
釧路	ホテルクラウンヒルズ釧路(旧釧路東急イン)	9/10(土)
帯広	ホテルグランテラス帯広(旧帯広東急イン)	9/11(日)
札幌	札幌大学	9/18(日)
青森	ホテルJALシティ青森	9/24(土)
函館	ロワジールホテル函館	9/25(日)
苫小牧	グランドホテルニュー王子	10/1(土)